

福島県復興計画 地域別の取組み

【 記載イメージ 】

■記載項目のイメージ

①被害の現状

- 主な地震（及び津波）被害
- 原子力災害に伴う立入制限等の状況
- 原子力災害に伴う影響
- 被災市町村及び避難住民の受入及び支援

②復旧・復興の方向性

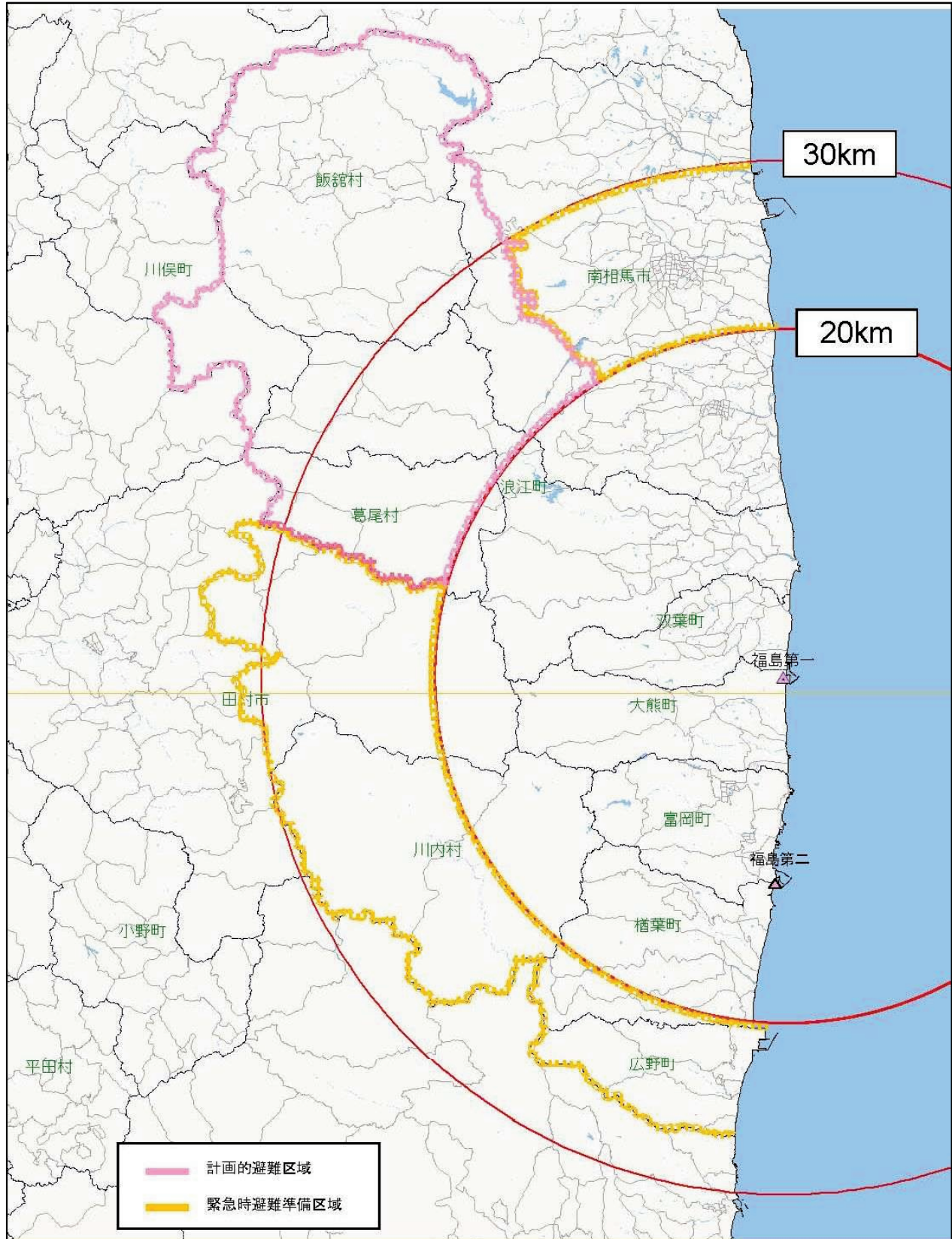
※取組みの方向性について、文章で記載予定

③復旧・復興の取組み

※取組みについて、計画本体から再掲予定

- ・緊急的対応
- ・未来を担う子ども・若者の育成
- ・地域のきずなの再生・発展
- ・新たな時代をリードする産業の創出
- ・災害に強く、未来を拓く社会づくり
- ・再生可能エネルギーの飛躍的推進による新たな社会づくり
- ・原子力災害の克服

○警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域



○地震津波被害状況

※（ ）書きは、地域内市町村数

	相馬地域(4)	双葉地域(8)	いわき地域(1)	中通り地域(29)	会津地域(17)	合計
最大震度	震度6強	震度6強	震度6強	震度6強	震度6弱	震度6強
死者	1,204 人	294 人	309 人	30 人	1 人	1,838 人
住家全壊	6,279 棟	未把握	7,104 棟	4,127 棟	16 棟	17,526 棟
浸水面積全体	79 km ²	18 km ²	15 km ²	- km ²	- km ²	112 km ²
浸水面積 (主な土地の)	(海水域)	6 km ²	0.5未満 km ²	1 km ²	-	8 km ²
	(田)	46 km ²	10 km ²	2 km ²	-	59 km ²
	(その他の用地※)	7 km ²	1 km ²	3 km ²	-	10 km ²
	(幹線交通用地)	2 km ²	0.5未満 km ²	0.5未満 km ²	-	2 km ²
	(建物用地)	6 km ²	1 km ²	5 km ²	-	13 km ²

○原子力災害に伴う制限区域等

	相馬地域(4)	双葉地域(8)	いわき地域(1)	中通り地域(29)	会津地域(17)
警戒区域	南相馬市	浪江町、双葉町 大熊町、富岡町 楢葉町、ほか2	-	田村市	-
計画的避難区域	飯館村、 南相馬市	葛尾村、ほか1	-	川俣町	-
緊急時避難準備区域	南相馬市	広野町、川内村 ほか1	-	田村市	-
特定避難勧奨地点	南相馬市	-	-	伊達市	-

○役場移転及び受入

	相馬地域(4)	双葉地域(8)	いわき地域(1)	中通り地域(29)	会津地域(17)	
役場移転	飯館村	全8町村				
役場受入			広野町	飯館村、浪江町 葛尾村、富岡町 川内村	大熊町 楢葉町	埼玉県 双葉町

○避難者の状況

	相馬地域(4)	双葉地域(8)	いわき地域(1)	中通り地域(29)	会津地域(17)	合計
一次避難所(9/19)	-97 人	-58 人	-3 人	0 人	0 人	-158 人
一次避難所(受入)	83 人	0 人	35 人	27 人	13 人	158 人
二次避難所(9/18)	-657 人	-1,981 人	0 人	-4 人	0 人	-2,642 人
二次避難所(受入)	0 人	0 人	336 人	689 人	1,617 人	2,642 人
仮設住宅入居者	-9,744 人	-13,431 人	-421 人	-2,813 人	0 人	-26,409 人
仮設住宅入居者(受入)	1,685 人	0 人	3,861 人	11,775 人	9,088 人	26,409 人
借上住宅 一般	-210 人	-3,631 人	-1,915 人	-333 人	0 人	-6,089 人
借上住宅一般(受入)	0 人	0 人	1,939 人	2,713 人	1,437 人	6,089 人
借上住宅 特例	-14,007 人	-29,847 人	-3,632 人	-4,902 人	0 人	-52,388 人

■相馬地域

①地域の現状

○主な地震及び津波被害

- ・ 3月11日、震度6強及び6弱を観測。
- ・ 相馬市釣師浜漁で、9m以上の津波を観測。
- ・ 浸水範囲面積79km²。
- ・ 死者1,204名。住家の全壊6,279棟。
- ・ 相馬港やJR常磐線などのインフラに打撃。

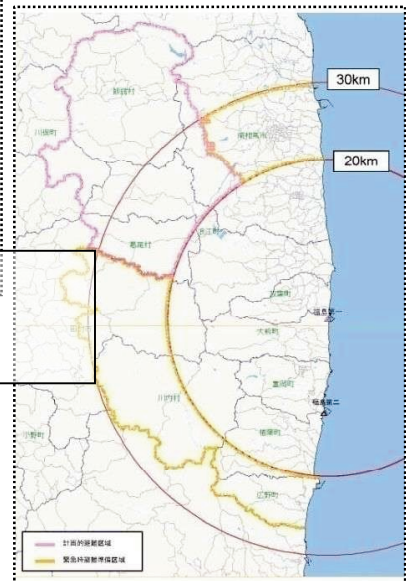
○原子力災害に伴う立入制限等の状況

- ・ 南相馬市は、警戒区域／計画的避難区域及び緊急時避難準備区域／制限なし区域（特定避難勧奨地点が122地点含む）にほぼ3分。
- ・ 飯館村全域が、計画的避難区域に設定。
- ・ 南相馬市の緊急時避難準備区域は、ステップ1が終了したことにより、9月中にも解除の見通し。
- ・ 警戒区域及び計画的避難準備区域では、ステップ2完了後、警戒区域の縮小や計画的避難区域の見直しが検討される見込み。

○原子力災害に伴う影響

- ・ 空間放射線量 $\mu\text{Sv/h}$ （H23.09.の最高値）
- ・ 警戒区域等では、住民の生活の場が奪われ、産業活動が停止。 <※帝国データバンク調査等より引用>
- ・ 多くの住民（ 人）が区域外で避難生活。
- ・ 飯館村は役場機能も区域外へ移転。

記載イメージ



②復旧・復興の方向性

※取組みの方向性について、文章で記載予定

③復旧・復興の取組み

※取組みについて、計画本体から再掲予定

- ・ 緊急的対応
- ・ 未来を担う子ども・若者の育成
- ・ 地域のきずなの再生・発展
- ・ 新たな時代をリードする産業の創出
- ・ 災害に強く、未来を拓く社会づくり
- ・ 再生可能エネルギーの飛躍的推進による新たな社会づくり
- ・ 原子力災害の克服

■中通り地域

①地域の現状

○主な地震被害

- ・ 3月11日、震度6強から5強を観測。
- ・ 死者30名、住家全壊4,127棟。
- ・ 葉ノ木平及び隈戸地区土砂崩れ（白河市・西郷町 死者14名）、藤沼湖決壊（須賀川市 死者10名）、国営かんがい排水事業隈戸川地区パイプライン損壊（鏡石町・西郷村）、須賀川市庁舎・郡山市庁舎の損壊など、県中・県南エリアを中心に、甚大な地震被害が生じた。

○原子力災害に伴う立入制限等の状況

- ・ 田村市の一部が警戒区域及び緊急時避難準備区域に設定。
- ・ 川俣町山木屋地区が計画的避難区域に設定。
- ・ 伊達市4地区が特定避難勧奨地点に設定。

○原子力災害に伴う影響

- ・ 空間放射線量 $\mu\text{Sv/h}$ （H23.09.の最高値）
- ・ 農林水産物について一部出荷制限。
- ・ 福島空港国際定期路線（ソウル、上海）運休。

○被災市町村及び避難住民の受入及び支援

- ・ 福島市（飯館村）、二本松市（浪江町）、郡山市（富岡町、川内村）、三春町（葛尾村）が、原子力発電所事故による制限区域から避難した自治体を受け入れサポート。
- ・ 自治体で、避難住民の居住を受入。



記載イメージ

②復旧・復興の方向性

※取組みの方向性について、文章で記載予定

③復旧・復興の取組み

※取組みについて、計画本体から再掲予定

- ・ 緊急的対応
- ・ 未来を担う子ども・若者の育成
- ・ 地域のきずなの再生・発展
- ・ 新たな時代をリードする産業の創出
- ・ 災害に強く、未来を拓く社会づくり
- ・ 再生可能エネルギーの飛躍的推進による新たな社会づくり
- ・ 原子力災害の克服